

2023年度司書課程主催行事等報告

2023年度春学期は、中村がアメリカ合衆国ニューヨーク州のシラキユース大学で在外研究を継続しており、小牧龍太特任准教授が司書課程の主任を務めた。春学期の「図書館概論」も小牧特任准教授が担当した。同授業内では、ゲストスピーカーとして静岡県焼津市のみんなの図書館「さんかく」館長の土肥潤也氏をお迎えすることができ、学生たちは大いに刺激を受けたということである。

春学期の終わりの9月11日(月)14時~16時に2023年度初回のFDをZoomで実施し、11名(小牧と中村を含む)が集まった。アメリカから参加した中村が、本学の来年度以降の授業形態の方針をお知らせし、昨年度秋学期と本年度春学期にそれぞれオンライン授業を実施した安藤幸央兼任講師と棚橋佳子兼任講師からの実践報告を経て、意見交換を行った。2024年3月6日(水)18時から、本年度第2回目の兼任講師懇談会を池袋キャンパス近くのイタリアンレストランで実施した。2020~2022年度が対面で実施できなかったことから、4年ぶりの実施で、15名の出席があり、感慨深い会合となった。兼任講師の方々からは授業の経験や学生についての観察を共有していただくことができた。

秋学期には中村が戻り、改めて主任となった。この秋学期には、選択科目の「図書館情報資源特論」をサブタイトル「多文化サービスと国際児童文学論」としてはじめて中村が担当して提供した。この授業で10月26日(木)に国立国会図書館国際子ども図書館の見学を行った。また、この授業には本誌巻頭に掲載した、Helen Cheung博士とJordi Cicres Bosch博士にゲストスピーカーとしていらしていただいた。Cheung博士は香港聖公会神学院の図書館長で、この授業では香港の児童・青少年向けの本の出版動向を紹介していただいた。多くの本を持ってきてくださり、授業中に学生たちに示して回覧ののち、本学司書課程に寄贈していただいた。これは2号館1階資料室の司書課程コレクションに加えた。言語学者のBosch博士からは、移民の受入が続くスペインのカタロニア州における言語教育の試みを報告していただいた。これは学生たちにかなり刺激的と受けとめられたようで、同授業の最終レポートでもBosch博士に複数の学生が言及した。

Cheung氏は情報学で香港大学から博士号を取得され、近年は図書館へのテクノロジーの導入によってイノベーションを起こすことに関心をもって研究を継続しておられる。そのご研究の一部である図書館利用者教育のためにAI、VR、ARを使ったミニゲームを開発する活動についての研究の進展状況を、これも中村が今年度はじめて担当した「情報メディアの活用」の授業にいらしていただき、ご報告いただいた。これは公開授業にもして、オンラインで図書館の現場の方たちを中心に数十名の方が視聴された。お二人の外国からのゲストのお話の内容は本誌の巻頭に掲載のとおりである。

12月9~10日にかけて、関優花研究・教育コーディネーターと中村で、陸前高田を訪れ、同市立図書館で菅野義則館長と面会し、2024年度夏ころに学生とともに同市を再訪し、共催イベントを実施できないかという申し入れの検討を依頼した。途中から、主任の舟野みさき氏も同席してくださり、ご検討のお願いを聞いてくださった。実現することを念じている。

(文責・中村百合子)